

報道関係各位

2013年7月23日

ワールドソーラーチャレンジに向け、新開発マシンを初公開 ～大会レギュレーションにも影響をもたらした先進の「4輪 低重心」～

工学院大学は、世界最大級のソーラーカー大会「World Solar Challenge」に初出場します。これに先駆け、7月23日 本学新宿キャンパスにおいて、工学院大学ソーラーカープロジェクトが開発した、世界大会のために先端技術を結集させたニューマシンを初公開いたしました。同時に、マシン開発にあたり、技術協力やご支援をいただいた数多くのサポート企業・団体を発表いたしました。

【World Solar Challenge 2013】

2013年10月6日から8日間、太陽光のみを動力源としたソーラーカーで、オーストラリア北部のダーウィンから、南部のアデレードまでの総延長3,021kmの距離を縦断しそのタイムを競い合う、世界で最も有名な大会です。

【工学院大学 ソーラーカープロジェクト】

監督／濱根洋人(工学部機械システム工学科 准教授)の指揮のもと、学生リーダー／齊藤 翔(機械工学専攻 修士1年)を代表とする総勢34名のチーム。2009年の設立以来、確実に実績を重ねており、2012年の国内大会World Green Challenge(WGC)では、他を圧倒しソーラーカー部門で優勝を果たしました。

世界大会には、学園の全面的なバックアップと、サポート企業・団体の協力により先進技術を積極的に採用したマシンで出場します。

- machine Spec -

name PRACTICE - プラクティス

PRACTICEは、理念の実践・実用化を意味する。プロジェクトが掲げる「理念・ビジョン・ミッション」である「レギュレーションの範囲内で、実用的な車両を作る」「新しい工学的なチャレンジを世界にアピールする」に基づく

details

安全性と実用性を重視

プロジェクト設立時から重視してきた安全性と実用性を追求した【4輪 低重心】は健在。かつてのスピード最優先の「3輪 高重心」を根底から覆した安全性優先の設計

近い未来の先端技術を搭載した高性能マシン

業界をリードする先進企業の協力により、電気自動車部品など、将来実用性の高い先端技術を採用

仕様 >> 全長：4.5m 全幅：1.8m 全高：1.1m

※参考情報：ソーラーカープロジェクト HP: http://www.kogakuin.ac.jp/feature/curiosity/feature_project01.html



◆サポート企業・団体

株式会社ブリヂストン/NTN株式会社/帝人株式会社/東邦テナックス株式会社/株式会社ジーエイチクラフト/サイオーベックス株式会社/スカパーJSAT株式会社/JSAT MOBILE Communications株式会社/株式会社 Add Value Creations/Inmarsat/東邦電子株式会社/株式会社南武/日野自動車株式会社/SunPower Corporation/株式会社ミツバ/株式会社ケー・アイ・エス/株式会社未来樹脂/株式会社ミスミ/多摩信用金庫/須河車体株式会社/サンシン電気株式会社/柏会/再輝/株式会社村田/ファクトリージース合同会社/埼玉産業株式会社/小林商会/株式会社クニミツ/PR クエスト株式会社/有限会社フィッシュアイ/渡辺電機工業株式会社/野村商会/工学院大学後援会/工学院大学校友会 (以上34企業・団体)

<本件に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課 担当：佐野・関根・山口

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2

TEL:03-3340-1498/FAX:03-3340-1648/e-mail:gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp